



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

私たちができること!

社会貢献～活動報告～

繋げよう絆・広げよう地域の輪



富士通アイソテックベースボールクラブ創設時より長年続けて参りました授産事業施設との協業について、ご紹介と訪問のご報告。

硬式野球の悩みのひとつに、ボールの修繕があります。ご存じかと思いますが硬式野球のボールは糸で縫われています。使用しているとその糸が切れてしまう為、縫い直すか廃棄せざるを得ません。ボールは1個約1,000円と高額の為、高校野球球児やそのマネージャーは修繕作業が必須です。(私も学生時代は毎日「ボール縫い」をしたものです。1個完了に約40分)

一方、授産所施設では定常的な仕事、または訓練の為の作業が確保できないという悩みがあります。そこに着目し、クラブメンバーが作業指導書や指導の為の動画を施設の皆さんと作成し、教育しながらボールの修繕作業の技術を習得して頂きました。安価で修繕の委託ができる為、現在ではエフコムベースボールクラブ以外にも複数の高校からも委託され、まさしくwin-winの関係が構築できています。また、高品質で誠意、熱意に満ちた修繕ボールと施設の皆さんは我々の心の支えとなっています。(西牧)

◆訪問日 2021年10月14日 ◆訪問者 西牧総監督、塚本マネージャ

地域貢献活動報告
たけの子の家の
皆様!ありがとう



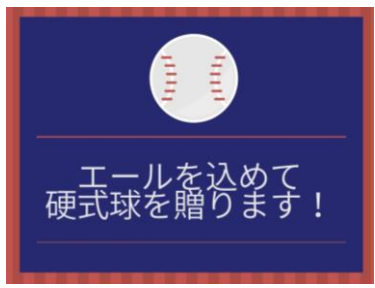
硬式球の 修繕作業を 実施しました

福島県中学生硬式野球各チーム(リトルシニア)へエフコムの名入り硬式ボールを各2ダース、送付させて頂きました。尚、福島リトルシニアチームには同チームOBの大河内陸さん(エフコムベースボールクラブ)帯同の上、ご挨拶に伺ってきました。

2011年東日本大震災以降、続けてきました福島県中学生野球連盟と協賛した野球大会、(従来は「富士通アイソテック杯」、今後は「エフコム杯」)はコロナの影響もあり、今年度は開催出来ませんでした。が、継続支援の意味合いも含め、ボールを贈りましたこと、ご報告させて頂きます。(西牧)

◆訪問月 2021年11月

◆訪問者 西牧総監督
大河内選手



<対象チーム>

- ①福島リトルシニア(今回訪問)
- ②郡山リトルシニア
- ③いわきリトルシニア
- ④福島ホープス会津シニア
- ⑤須賀川リトルシニア
- ⑥南部リトルシニア

